

第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会の開催に向けた検討状況及び今後の取組について

<大会の概要>

	アジア競技大会	アジアパラ競技大会
主 催 者	アジア・オリンピック評議会 (O C A)	アジアパラリンピック委員会 (A P C)
開 催 期 間	2026年9月19日(土) ～10月4日(日)	2026年10月18日(日) ～10月24日(土)
参加国・地域	O C A加盟の45の国と地域	A P C加盟の45の国と地域
選 手 団 (選手・チーム役員)	最大15,000人	3,600～4,000人
実 施 競 技	41 競技	18 競技

1 組織委員会の取組

(1) 競技及び競技会場 (別添1-1及び別添1-2参照)

[2025年度]

- ・各国・地域が競技ごとの参加見込選手数を登録するエントリーバイナンバーを実施（アジア競技大会：2025年7月～9月、アジアパラ競技大会：2025年8月～10月）
- ・2025年5月以降、伊豆ベロドロームでの自転車競技を始め順次テストイベントを実施し、本大会に向けて課題を洗い出し対応を検討
- ・2024年度に作成した会場運営計画について、テストイベントや各関係者との協議等を踏まえて、計画内容を更新
- ・アスリート委員会を開催し、大会運営等に関する意見交換等を継続的に実施
- ・アジア競技大会の競技に関する技術代表（TD）を招き、大会準備状況の確認等を行うTDミーティングを開催（第1回：2025年4月30日～5月2日、第2回：2025年11月27日～28日実施）
- ・競技会場仮設オーバーレイ整備の実施設計を作成
- ・スケートボード始め5種別の競技エリアの実施設計及び工事を実施
- ・競技結果を処理し、情報を配信する計時計測システムの設計・開発を実施

[2026年度]

- ・会場運営計画について、会場毎に各関係者との協議等を踏まえ計画内容を更新
- ・テストイベントを実施し、本大会に向けて課題を洗い出し対応を検討

- ・アスリート委員会を開催し、大会運営等に関する意見交換等を継続的に実施
- ・各国・地域が競技ごとの参加選手名を登録するエントリーバイネームを実施（アジア競技大会：5～7月、アジアパラ競技大会：6月～7月）
- ・8月にアジア競技大会のチーム競技に関するチームドロー（組み合わせ抽選（会））を実施。アジアパラ競技大会は、各I F等において個別で事務的に組み合わせ抽選を実施予定
- ・エントリーバイネームやチームドローの後に、セッションスケジュール等競技スケジュールの最終確定（アジア競技大会：2026年8月頃、アジアパラ競技大会：2026年9月頃）

（２）宿泊計画の検討

〔2025年度〕

- ・宿泊施設、ホテルシップ、移動式宿泊施設における具体的な運営方法を検討し、関係各所と調整・交渉を実施
- ・大会関係者の各宿泊施設への配宿シミュレーションを実施し、宿泊施設と契約締結に向けた交渉を実施
- ・大会関係者の宿泊管理を実施するため、宿泊管理センターを設置
- ・選手団の宿泊施設として愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会J Vニトリ・アーキビジョン21と設計及び住戸等にかかる移動式宿泊施設賃貸借の契約を締結
- ・2025年内に完了した実施設計に基づき、2026年1月から移動式宿泊施設（住戸及び諸室等）の設置工事を実施
- ・選手団の宿泊施設として株式会社J T B名古屋事業部とホテルシップの契約を締結

〔2026年度〕

- ・大会関係者の宿泊施設における最終調整を行い、大会本番に向けた運用体制を確立
- ・宿泊施設、ホテルシップ、移動式宿泊施設における具体的な運営方法を検討し、関係各所と調整・交渉を実施
- ・宿泊管理センターをグローバルゲートと東大手庁舎に設置し、大会関係者の宿泊管理を大会終了まで実施
- ・2026年8月までに事業者から移動式宿泊施設の引き渡しを受け、2026年9月から大会関係者へのサービスの提供を開始

（３）輸送・警備計画の検討

〔2025年度〕

- ・大会関係者輸送に関するバス及び乗用車の運行計画、車両・運転手確保及び運行管理体制、宿泊施設計画を踏まえた輸送拠点間の輸送ルート等について検討中
また、車両を管理するための拠点の実施設計を実施（2025年度に完了）
- ・警備ガイドラインVer. 3を改定（2025年6月2日）。また、関係機関との現地踏査を実施し、順次、大会関係施設の警備計画を精査

〔2026年度〕

- ・大会関係者輸送に関するバス及び乗用車の運行計画に基づいた、車両・運転手の調達及び運行管理を実施
- ・車両を管理するための拠点工事を4月頃から実施
- ・大会関係施設の警備計画に基づいた警備員及び警備資機材の運用を実施

（４）情報システム・通信ネットワークの構築

〔2025年度〕

- ・OCAと協議、作成したITガイドラインに沿って大会情報システムの設計・開発を実施中
- ・大会ネットワークについて、基本設計に基づき、各会場の詳細設計（2025年度に完了）及び機器調達を実施中
- ・大会で利用される無線機器について、適切に管理するため関係各所と調整中

〔2026年度〕

- ・大会情報システムの設計・開発・運用を実施
- ・大会ネットワークについて、詳細設計に基づき、各会場での施工、運用及び撤去を実施
- ・無線機器について、申請に基づき関係各所と使用する周波数を調整し、適切な運用を実施

（５）メインメディアセンター・映像制作にかかる検討

〔2025年度〕

- ・報道関係者及び放送事業者の活動拠点となるメインメディアセンターの実施設計を実施
- ・国際映像（特定の国や地域に偏らない競技映像）の制作に関する計画を作成

〔2026年度〕

- ・実施設計に基づき、メインメディアセンターの仮設整備を実施。大会本番時のメインメディアセンターの運営及び維持管理を行い、終了後は原状復旧工事を実施（2026年4月から名古屋市国際展示場（ポートメッセなごや）第3展示館を借用し、7月末までに仮設整備を行う。大会後、2027年1月中旬までに撤去を行う。）

(6) ブランド開発・管理及びマーケティング活動等

[2025 年度]

- ・競技ピクトグラムを制作・公表（アジア競技大会：2025 年 9 月、アジアパラ競技大会：2025 年 10 月）
- ・大会に関連する多種多様なアイテムに展開するルック（装飾）を開発
- ・パートナー権利保護のため、各競技会場の既設看板等のマスキングを行うクリーンベニューの計画を策定
- ・2025 年 10 月に、大会広報と連携し、大会の魅力や観戦チケットの販売情報をより多くの方に届けるため「応援 I D」を創設。今後、チケットティング計画に基づきチケット販売を実施
- ・チケット販売は 2026 年 1 月から関係者販売（第一次受付）、2 月から 3 月に一般向け販売（先行販売）を実施
- ・パートナー候補企業へのセールス及びパートナーシップ契約の締結に向けた協議を実施
- ・2025 年 12 月 22 日時点でトヨタ自動車(株)始め 15 社とパートナーシップ契約を締結、中部電力(株)等 15 社と覚書等を締結
- ・公式ライセンスグッズを製作するライセンシーの募集及び公式ライセンスグッズの販売を実施
- ・公式ライセンスグッズを販売するオフィシャルオンラインショップを開設
- ・2025 年 5 月 7 日、6 月 5 日に 500 日前イベントをサカエチカで実施
- ・2025 年 10 月 18 日、19 日に行われた名古屋まつりで公式ポップアップショップを出店

[2026 年度]

- ・パートナー候補企業へのセールス及びパートナー契約の締結に向けた協議を実施
- ・公式ライセンスグッズを製作するライセンシーの募集及び公式ライセンスグッズの販売を実施
- ・大会広報と連携して「応援 I D」の登録を促進し、大会情報を積極的に発信
- ・チケット販売は 2026 年 6 月から関係者販売（第二次受付/販売）、一般向け販売（通常販売）を実施

(7) 開閉会式の検討

[2025 年度]

- ・開閉会式の実施について、総監督も含めた制作チームを編成
- ・開閉会式本番に向けて、演出プラン等の制作を実施

[2026 年度]

- ・開閉会式本番に向けた準備を進め、運営計画等を作成

- ・開閉会式本番に向けたリハーサルを随時実施

2 開催都市の取組

(1) 開催都市における大会運営

[2025年度]

- ・観客輸送に関するバス車両・運転手の調達開始。開催に向けて観客輸送に関する計画を精査・改定
- ・観客警備に関する警備員の確保及び警備資機材の調達を開始。開催に向けて観客警備に関する計画を精査・改定
- ・大会運営・観客誘導の円滑化及び観客移動等による地元住民生活等への影響の低減を図るため都市オペレーションセンター運営計画をもとに、地元調整を本格化し、都市オペレーションセンターの運営要領を作成
- ・2025年9月以降、都市オペレーションセンターの図上訓練及び実運用訓練を順次行い、運営要領の実行性を検証

[2026年度]

- ・観客輸送に関するバス車両・運転手の調達を継続。大会期間中のバスの運行管理を実施
- ・警備員の確保、警備資機材の調達を継続及び警備員の研修を行い、大会期間中の観客警備を実施
- ・都市オペレーションセンターの図上訓練、実運用訓練を実施し、運営要領の実行性を検証
- ・2026年8月以降、都市オペレーションセンターを本格稼働させ、大会運営体制に移行予定

(2) 開催機運の醸成

[2025年度]

- ・アジア・アジアパラ競技大会1年前イベントを県内4か所で実施（9月20日：名古屋テレビ塔、10月5日：エントリオ、10月18日：JRゲートタワーイベントスペース、10月26日：岡崎中央総合公園総合体育館）
- ・愛知国際アリーナのオープニングイベントや太閤祭り、ボートレース蒲郡での協賛レースを始め、県内のイベントやスポーツ大会等へのブース出展による大会PRを実施
- ・日本陸上競技選手権大会（7月5日～7月6日）、大阪・関西万博（8月22日～8月24日）、愛知万博20周年記念事業（キャナルパークささしま：9月13日～9月14日、愛・地球博記念公園：9月23日）、ツーリズムEXPOジャパン2025愛知・中部北陸（9月27日～9月28日）、東京2025デフリンピック（11

月 22 日～11 月 24 日) 等県内外の大型イベントにブースを出展

- ・小中学生・高校生に向けた P R、SNS や Youtube などウェブを活用した P R を実施

[2026 年度]

- ・県内主要駅等において、アジア・アジアパラ競技大会 100 日前及び大会期間中の集中 P R を実施
- ・大会直前期に、バスラッピングによる集中 P R を実施
- ・本県の特産品である花き及び名古屋市の伝統工芸品による会場装飾を実施
- ・県内主要駅等において都市装飾を実施
- ・競技会場外でライブ中継を通じた競技観戦等が楽しめるライブサイトを設置

3 組織委員会・開催都市の取組

(1) ボランティア

[2025 年度]

- ・一般ボランティアの採用イベントを実施し、2025 年 6 月末からボランティア採用者への採用決定を通知 (2025 年 5 月 31 日時点で 26,096 人の応募)
- ・2025 年 7 月末から共通研修を実施
- ・2025 年 8 月にユニフォーム発表会を実施
- ・2025 年 10 月末で語学や競技等の専門ボランティアの公募を終了。
一部の競技、言語等に関する専門ボランティアについては、関係団体・大学等と連携し募集を継続
- ・2025 年 11 月からリーダー研修を実施
- ・2026 年 2 月頃に役割・活動場所を通知予定
- ・高校生に対し、ボランティア体験の機会創出を検討

[2026 年度]

- ・2026 年 4 月頃から役割別研修を実施
- ・2026 年 7 月頃に活動日を通知
- ・2026 年 8 月頃から会場別研修を実施

(2) 聖火リレー・文化プログラムの検討

[2025 年度]

- ・聖火リレーについて、実施計画を作成し、運営計画を検討
- ・2025 年 12 月 23 日から 2026 年 2 月 2 日まで、一般募集を行う自治体において、聖火ランナーの募集を実施
- ・文化プログラムについて、開催都市が実施計画に基づき、各実施会場 (競技会場・メインメディアセンター・宿泊施設等) における実施内容やプログラム等

を定めた詳細計画を作成（主催事業）。また、組織委員会が認証する「Aichi-Nagoya 2026 公認文化プログラム」を大会 1 年前（2025 年 9 月）から開始（認証事業）（2025 年 12 月 22 日時点で相談件数 105 件、うち認証件数 81 件）

〔2026 年度〕

- ・聖火リレーについて、運営計画に基づき、大会開催前に市町村等において実施（実施市町村：アジア競技大会 40 自治体、アジアパラ競技大会 30 自治体）
- ・文化プログラムについて、詳細計画に基づき、各実施会場において自治体等の参画を得ながら、地域の魅力や文化を発信（主催事業）。引き続き、組織委員会が認証する「Aichi-Nagoya 2026 公認文化プログラム」を実施（認証事業）

（3）競技会場等の確保

〔2025 年度〕

- ・大会で使用する競技会場等の施設について、施設所有者等と詳細な使用期間や使用方法等に関する協議・調整
- ・施設借り上げに伴い営業休止を余儀なくされる各種テナント等への補償に向けた損失補償額の算定及び補償契約に向けた協議
- ・競技会場において仮設の電源設備・通信ネットワーク整備にかかる機器類調達及び工事を実施予定

〔2026 年度〕

- ・大会で使用する競技会場等の施設について、施設所有者等と運用方法等の調整を行うとともに、施設借用に必要な手続き及び使用料等の支払いを実施
- ・各競技会場において仮設電源設備・通信ネットワーク整備にかかる機器類調達及び工事を実施し、大会期間中、保守管理業務 等を実施
- ・施設借り上げに伴い、営業休止を余儀なくされる各種テナント等と補償契約を締結し、補償金の支払いを実施

（4）財源の確保

〔2025 年度〕

- ・6 月 13 日に閣議決定された経済財政運営と改革の基本方針 2025（骨太の方針）の本文に「両大会の意義を踏まえた各般の開催支援に取り組む」と明記
- ・国の財政支援を求めるため、超党派の県市議員連盟や国会議員連盟の協力のもと、12 月 3 日に「愛知・名古屋アジア競技大会及び愛知・名古屋アジアパラ競技大会に関する特別措置法（議員立法）」が成立
- ・特別措置法により可能となった国の財政支援として、136 億円※の補正予算が 12 月 16 日に成立（※外に、特別措置法の規定に基づく無線関係手数料、電波利用料の減免 14 億円）

- ・12月22日に、現時点での大会経費2,980億円を公表
- ・名古屋競馬、ボートレース（常滑、蒲郡）に加え、名古屋・豊橋競輪場においても、大会支援を目的とした協賛レース等を開催
- ・経済団体と連携し、企業訪問により、寄附金募集活動を実施（2025年4月に組織委員会への寄附金が指定寄附金へ指定）

[2026年度]

- ・国に対して必要な支援を引き続き要請
- ・名古屋競馬、ボートレース（常滑、蒲郡）に加え、名古屋・岐阜競輪場においても、大会支援を目的とした協賛レース等を開催
- ・経済団体と連携し、企業訪問により、寄附金募集活動を実施

4 アジア・アジアパラ競技大会を契機とした取組

（1）大会を契機としたビジョン等の推進

① 愛知県

[2025年度]

- ・大会期間、大会前後の具体的な取組を示すロードマップを策定
- ・各局において、両大会を活用した地域活性化に向けた取組を推進

[2026年度]

- ・各局において、両大会を活用した地域活性化に向けた取組を推進

② 名古屋市

[2025年度]

- ・「2026 アジア・アジアパラ競技大会NAGOYAビジョン」に掲載した取組を各局において推進
- ・NAGOYAビジョンレガシー創出活動助成制度を創設
- ・各区区民まつりや地域イベントである夏まつり等における大会PRの実施や地域の方々からの大会へ向けた応援メッセージ募集、各区役所のエレベーターや駅階段、歩道橋への装飾を実施した他、市政広報番組（特別番組）の放映や広報なごやにおいてアジア・アジアパラ競技大会の特集ページを2024年9月から継続して掲載するなど、各局区室において、機運醸成につながる取組を実施

[2026年度]

- ・引き続き「2026 アジア・アジアパラ競技大会NAGOYAビジョン」に掲載した取組を各局において推進
- ・NAGOYAビジョンレガシー創出活動助成制度を継続実施予定
- ・大会開催へ向けて、多くの人に目が留まる市有施設や公共交通機関等での装

飾や広報などやへのアジア・アジアパラ競技大会の特集ページへの掲載を継続実施するなど、機運醸成につながる取組を実施

- ・大会に関連する市内の象徴的な場所にて、大会や地域の魅力を発信する催しを実施予定
- ・引き続き大会までに、アクセスルートや最寄り駅において、「瑞穂公園陸上競技場地区バリアフリー基本構想」や障害当事者とのバリアフリー調査に基づく整備を実施

(2) アスリートの発掘・育成・強化

① あいちトップアスリートアカデミー

[2025 年度]

- ・県内 5 会場で選考会を実施し、668名の応募者から、キッズ40名、ジュニア60名、ユース16名、パラアスリート部門12名を選考
- ・7月21日に開講式を開催し、2026年3月14日までアカデミー活動を実施予定
- ・アカデミー修了生6名（4競技）がインターハイ、国民スポーツ大会に出場

[2026 年度]

- ・県内 5 会場で選考会を実施し、キッズ40名、ジュニア60名、ユース30名、パラアスリート部門12名を募集予定

② オリンピック・アジア競技大会等選手強化

[2025 年度]

- ・オリンピックやアジア競技大会等で活躍する本県ゆかりの選手（パラ選手を含む）を強化するため、競技団体から推薦された選手から188名を強化指定選手に指定し、競技用具費や遠征費等の強化費を補助

[2026 年度]

- ・引き続き、競技団体から推薦された選手から180名程度を強化指定選手に指定し、競技用具費や遠征費等の強化費を補助する予定

③ アスリートキャリア支援

[2025年度]

- ・アスリートが安心して競技を継続できる環境を整え、引退後も経験を活かしたキャリアを形成できるように、キャリア形成等を支援
- ・10～12月にアスリート向け、企業・団体向け講座を開催し、12月にキャリア支援サイトを公開。また、2026年3月頃にマッチングイベントを開催予定。

[2026 年度]

- ・引き続き、アスリートが安心して競技を継続できる環境を整え、引退後も経験を活かしたキャリアを形成できるように、キャリア形成等を支援

(3) 愛知国際アリーナの整備・運営

[2025年度]

- ・ P F I 手法の「B T コンセプション方式」により、設計・建設から維持管理・運営を一体として民間事業者（株式会社愛知国際アリーナ）が実施
- ・ 2025年3月31日竣工、2025年7月の大相撲名古屋場所でグランドオープン
- ・ 名古屋ダイヤモンドドルフィンズのホームゲームのほか、「I S U グランプリファイナル国際フィギュアスケート競技大会愛知・名古屋2025」などの国際的なスポーツイベント等を開催

[2026年度]

- ・ 引き続き、民間事業者による維持管理・運営を実施
- ・ アジア競技大会ではバスケットボールと柔道、アジアパラ競技大会では車いすバスケットボールの競技会場となる予定

(4) 瑞穂公園の整備

[2025年度]

- ・ P F I 方式により陸上競技場の改築を含む瑞穂公園の整備と公園全体の維持管理運営を一体として実施する民間事業者と2021年7月に事業契約を締結
- ・ 2026年3月31日、陸上競技場竣工及び公園整備工事完了

[2026年度]

- ・ 2026年4月22日から供用開始
- ・ 両大会のメイン会場や陸上競技等の会場となる予定

(5) 市町村施設改修への補助

[2025年度終了]

- ・ 市町村が所有する競技施設において、大会の開催に必要な照明のL E D化、バリアフリー化等の改修をする場合に補助金を交付
- ・ 豊橋市総合体育館始め16施設に対し交付予定

(6) 宿泊施設バリアフリー化の推進

[2025年度]

- ・ 大会開催を契機に、宿泊事業者がバリアフリー化の改修等をする場合に補助金を交付
- ・ 2025年12月末時点で愛知県は20件、名古屋市は9件を交付決定

(7) フレンドシップ事業の推進

① 愛知県

[2025年度]

- ・ 県内の市町村や小中学校等が、大会を契機としたアジア各国・地域との交流を

推進する取組を実施する場合に補助金を交付

- ・ 2025 年 12 月末時点では 28 市町村 61 事業、延べ 503 校で実施予定
〔2026 年度〕

- ・ 県内の市町村や小中学校等による大会を契機としたアジア各国・地域との交流を推進する取組に対し、補助を継続

② 名古屋市

〔2025 年度〕

- ・ 大会を契機に多様性・共生社会への理解を促進するため、名古屋市立学校（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）及び地域住民向けに、アスリート・パラアスリート訪問を含む「大会を知る（スポーツ志向）」、「国際理解」、「障害者理解」をテーマとした講師派遣講座を 60 回程度実施

〔2026 年度〕

- ・ 引き続き、名古屋市立学校及び地域住民向けに「大会を知る（スポーツ志向）」、「国際理解」、「障害者理解」をテーマとした講師派遣講座を 60 回程度実施予定
- ・ 大会期間中におけるアジア各国、地域のアスリート・パラアスリートと児童生徒や地域住民の方々との交流を実施予定

（８）パラアスリート学校訪問事業の推進

〔2025 年度〕

- ・ 県内の小学校及び特別支援学校にパラアスリートが訪問し、競技体験や子どもたちへの講演を実施（12 月末時点で 7 回、1 月以降 2 回、計 9 回実施予定）

〔2026 年度〕

- ・ 2025 年度と同内容で継続実施（20 回実施予定）

（９）児童生徒招待事業の実施（新規）

〔2026 年度〕

- ・ アジア・アジアパラ競技大会に、県内の国公立・私立の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等に通学する児童・生徒を招待し、大会を直接観戦する機会を提供

（10）ファミリー招待事業の実施（新規）

〔2026 年度〕

- ・ アジア・アジアパラ競技大会に、それぞれ 2,026 組（最大 8,104 名）の県内の親子等を招待し、大会を直接観戦する機会を提供